

令和8年2月8日執行

## 衆議院小選挙区選出議員選挙

# 選挙公報 (熊本県第1区)

熊本県選挙管理委員会

小選挙区



自民党公認

## 木原みのる

**1 責任ある積極財政で、強い経済を実現**

経済安全保障やA・半導体など17の戦略分野への官民連携投資を進め、雇用と所得を増やし、税率を上げずに税収が自然増に向かう強い経済を実現します。

**2 物価高から国民生活を守る**

ガソリン・軽油価格は既に値下がりが見え、電気・ガス代支援も行われています。重点支援地方交付金を活用し、家計や事業者、子育て分野を含めた物価高対策を実行します。

**3 国づくりは人づくり**

教育無償化を進め、教育格差を是正するとともに、理数教育の充実や保育士教師の処遇改善、働き方改革を通じて、質の高い教育環境を整えます。

**4 社会保障改革で将来不安を解消**

社会保障制度を持続可能な形に改革し、現役世代の負担に配慮しながら、医療介護福祉の基盤を強化し、安心できる医療提供体制を確保します。

**5 外交力・防衛力・情報力の抜本的強化**

厳しい安全保障環境の中、国家安全保障戦略等の「三文書」を改定し、抑止力、対処力を強化します。インテリジェンス機能の整備を進め、拉致問題の解決に取り組めます。

**日本列島を、熊本を、強く豊かに。**



**6 農業は国の基(もと)**

農業基盤整備やスマート農業の推進など、生産性向上に向けた農家の皆様の取組を支え、食料安全保障を強化し、安定した食料供給を確保します。

**7 「稼ぐ力」を抜本的に強化**

賃上げや設備投資に取り組む事業者を後押しし、地場産業の付加価値向上や販路拡大を支援することで、地域経済の持続的な成長につなげます。

**8 着実な社会資本整備**

国土強靱化を進めるとともに、熊本の交通渋滞対策や防災・減災を強化し、災害に強く、安心して暮らしやすい都市基盤を構築します。

**9 地方の活力は、日本の活力**

「地域未来戦略」を推進し、産業クラスター形成やGX型産業集積、関係人口の創出を通じて、地方から日本全体の活力を高めます。

**10 日本国憲法及び皇室典範の改正**

時代の変化や社会の要請に応え、自衛隊の明記や緊急事態対応を含む憲法改正を進め、皇位の安定的な継承のため皇室典範改正に取り組みます。

木原みのるプロフィール

### Profile

昭和44年 熊本市に生まれる(8月12日)  
昭和60年 熊本市立出水南中学校卒業  
昭和63年 熊本県立済々黴高等学校卒業  
平成5年 早稲田大学教育学部卒業  
平成16年 日本航空株式会社退職  
平成17年 衆院選にて初当選(現在6期)  
平成25年 防衛大臣政務官  
平成26年 自民党青年局長  
平成27年 自民党文部科学部会長  
平成28年 財務副大臣  
平成30年 自民党国会対策委員会副委員長  
令和元年 内閣総理大臣補佐官  
令和3年 自民党政務調査会副会長(兼)事務局長  
令和4年 衆議院国土交通委員長  
令和5年 防衛大臣(第25代)  
令和6年 自民党安全保障調査会長  
令和7年 内閣官房長官  
—— 現在に至る ——

## 26年の経験で、県民の声を国政へ

私は県議会議員として7期26年、生活者の声を一貫して届けてきました。熊本の国会議員がすべて自民党となった今、多様な県民の声が本当に国政に届いているのか。「おかしいことは、おかしい」と言える存在が必要です。

### ■ 生活の安心を取り戻すために

物価高、社会保険料の負担、将来への不安。熊本を歩く中で、皆さまの切実な声を数多く伺ってきました。政治に必要なのは、数字ではなく、皆さま一人ひとりの「生活を守る覚悟」です。私は、暮らしの底上げを実現するため、次の4つの改革に取り組めます。

### ■ 働く人を守る「本当の働き方改革」

現在の働き方改革は、時間外労働の上限緩和や裁量労働制の拡大など、労働者の命と健康を脅かす方向に進んでいます。厚労省調査では、上限を超えて働きたい人はわずか0.1%。一部の要望のために99.9%の働く人を危険にさらすべきではありません。私は、企業・団体献金に左右されない立場から、働く人を守る改革を進めます。

### ■ 熊本の安全を守る：健軍駐屯地のミサイル配備問題

健軍駐屯地への長射程ミサイル配備が進められています。半径2キロ以内には学校・病院・保育園など約60の公共施設があり、多くの家族が暮らしています。住民説明もないまま進むこの計画に、強い懸念を抱いています。熊本の安全と暮らしを守るため、国に対し丁寧な説明を求めます。

### ■ 4つの経済・生活支援策

- ① 食料品の消費税ゼロ  
毎日の買い物に直結する負担を軽減し、家計にゆとりを取り戻します。一時的な給付ではなく、恒久的な「ゼロ税率」を目指します。
- ② 社会保険料の負担軽減  
「働いても手取りが増えない」現状を変えます。事実上の「第二の税金」となっている社会保険料を見直し、働く人の可処分所得を増やします。
- ③ 行き過ぎた円安の是正  
物価高の根本原因である円安に対し、責任ある金融・経済政策を求めます。円の価値を守り、輸入コストを抑え、物価そのものを引き下げます。
- ④ 財源の確保  
増税の前にやるべきことがあります。眠ったままの基金の活用、政府系ファンドの設計、予算の抜本的組み替え。しがらみにとらわれない視点で、必要な財源を生み出します。

平和を守る。くらしを守る。働く人の立場に立つ政治を取り戻す。そのために、私は全身全霊で取り組みます。どうか、皆さまの確かな一票を、かまたさとるへお寄せください。

比例区は **中道へ**



中道改革連合公認

## かまたさとる



平和・生活を守る

#### PROFILE

- 1965年(昭和40年)1月2日 熊本市生まれ
- 熊本市立小学校・城南中学校・熊本西高等学校 卒業
- 1983年 電電公社(現NTT)入社
- 1999年 熊本県議会議員 初当選(7期連続当選)



I am **3** JAPAN

“3つの柱と9の政策”

**1 日本人を豊かにする**  
の柱 ～経済・産業・移民～

**1 “集めて配る”より、まず減税**  
減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

**2 日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”**  
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

**3 現場の人が支える日本**  
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

**2 日本人を守り抜く**  
の柱 ～食と健康・一次産業・エネルギー～

**4 食は人の天なり**  
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給率を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

**5 エネルギーと資源確保が生命線**  
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

**6 安心医療で健康国家**  
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

**3 日本人を育む**  
の柱 ～教育・人づくり・国家観～

**7 子ども一人につき月10万円**  
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

**8 受験戦争からの解放**  
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正當に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場になります。

**9 日本はみんなの家**  
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさで平和を守ります。



やまぐち  
**山口 誠太郎**  
参政党公認

比例は **参政党** とお書きください。

参政党の政策は ▶  
こちらの特設サイトから！



**山口誠太郎** プロフィール 1989年(平成元年)4月生まれ。佐賀県佐賀市出身。佐賀商業高校、熊本学園大学商学部卒業。大学卒業後は、熊本県内の飲食店で店長を経験し、その後、本社の人事部・経理部を歴任。現在、税理士事務所職員と就労支援事業の会社の取締役を兼任。3児の父として子育てに奔走中。趣味は、野球。



令和8年2月8日執行

衆議院小選挙区選出議員選挙

# 選挙公報

(熊本県第1区)

熊本県選挙管理委員会

小選挙区

届けよう、  
声。

あなたの一票が、  
未来を創る力になる。



デッサン画制作/崇城大学 芸術学部の皆さん

第51回 衆議院議員総選挙

第27回 最高裁判所裁判官国民審査

投票日

2月8日

投票時間

※投票所により異なります。

午前7時 ▶ 午後8時

投票日に予定がある方は  
期日前投票を!

1月28日(水)~2月7日(土)  
午前8時30分~午後8時

※投票所により期間や時間が異なりますので、詳しくは、お住いの市区町村の選挙管理委員会にご確認ください。



©2010熊本県くまモン



選挙のめいずいくん

熊本県選挙管理委員会 熊本県明るい選挙推進協議会

(この選挙公報は、原稿をそのまま製版し、くじで定めた順序により掲載したものです。) 両面をご覧ください。